

令和3年度 自己評価書

学校名	和歌山市立新南小学校
校長氏名	嶋田弘人
作成日	令和4年2月22日

1 教育目標

豊かな心を持ち、主体的に生きる子どもを育成する

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・県学習到達度調査で正答率が県平均を上回る。 ・児童アンケート項目「毎日の勉強がわかる」で肯定的回答80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート項目「学校が楽しい」で肯定的回答90%以上 ・いじめの解消率が100%になるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート項目「休み時間に運動場でよく遊ぶ」で肯定的回答90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート項目「学校の様子をわかりやすく伝えている」で肯定的回答80%以上 ・児童アンケート項目「気持ちのいいあいさつができる」で肯定的回答80%以上
重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ◎基礎基本の確実な定着 ◎子供主体の授業の推進 ○読書活動の推進 ○家庭学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◎道徳教育・人権教育の充実 ◎いじめの未然防止・早期発見 ○互いのよさを認め合う仲間作りと集団活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◎体力向上の取組の推進 ◎基本的生活習慣の確立 ○外遊びや運動に親しむことの奨励 	<ul style="list-style-type: none"> ◎家庭・地域との連携推進 ◎情報の積極的な発信 ○地域資源の積極的活用の推進
取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> ・学習規律・学習習慣の定着を図る。 ・ことばの力向上のため新南タイムで基礎問題集を継続して活用する。 ・校内俳句コンクールを四季ごとに実施する。 ・全学年各学期で漢字博士検定に取り組み（1年生は3学期から）。 ・各学級担任が研究授業を行い、教員個々の授業力向上につなげる。 ・読書タイム等で読書指導を行う。 ・家庭学習で音読練習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳や人権の授業の工夫改善に努め、道徳性を培い、人権意識の向上に努める。 ・いじめアンケートを学期に1回実施し、いじめの未然防止・早期対応に努める。 ・好ましい友達関係築きながら、自己肯定感を高めたり、安心して学習に取り組めたりできる学級づくりを行う。また、集団活動等で子供同士が関わる機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育科の授業の充実を図り、縄跳びカード等の上達カードを活用することで運動への意欲を高め、体力の向上に努める。 ・登校時の体調カードの提出、マスクの着用、ハンカチ等の携帯、手洗いの励行を継続的に指導する。 ・外遊びを奨励し、鬼ごっこや一輪車等運動に親しむ機会を大切にし、運動用具・器具等の環境整備に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校通信、学年・学級通信HPのほか、懇談会等あらゆる機会を通して積極的に子供や学校・学級の様子を発信する。 ・子供達が地域に出たり、地域の方と触れ合ったりする機会を通して、地域への愛着を育む。
取組の成果と課題（評価結果【C】）	<ul style="list-style-type: none"> ・県学習到達度調査の結果を県平均と比較すると、4年国語：県平均より上回った（3.6ポイント）。4年算数：県平均より上回った（5.7ポイント）。5年国語：県平均より下回った（2.8ポイント）。5年算数：県平均より下回った（2.3ポイント）。5年理科（5.4ポイント）下回った。 ・5年については授業改善を図る必要がある。 ・「毎日の勉強がわかる」と回答した児童の割合は93.7%あり、目標は達成できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校が楽しいと感じる」と回答した児童の割合は94.4%である。互いの良さを認め合え、安心できる学級づくりの取組が反映された結果であると考えられる。 ・学期に1回実施している「いじめアンケート」も活用しながら、児童間のトラブルはその都度丁寧に対応し、解決をしてきた。いじめは起こるものという認識のもと、早期に見つけ対応していく取組を継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「休み時間に運動場でよく遊ぶ」と回答した児童の割合は60.7%である。 ・令和元年度「体力テスト」の結果では「握力」や「シャトルラン」の平均が全国平均を顕著に下回っていた。令和3年度「体力テスト」の結果では、「握力」は全国平均より低い若干向上が見られた。「シャトルラン」は依然全国平均より低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートで「学校の様子をわかりやすく伝えている」と回答した保護者の割合は74.3%であった。昨年度（69.6%）と比較すると目標には達しなかったものの割合は高くなっている。 ・児童アンケートで「気持ちのいいあいさつができる」と回答した児童の割合は93.7%で、肯定的回答80%以上という目標は達成できた。
改善方法【A】	<ul style="list-style-type: none"> ・特に5年については、学習規律のある授業を継続して行うことで学習内容の習得を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育や人権教育の一層の充実を図り、いじめを許さない心情を養うとともに、自分も相手も大切にできる児童の育成を継続する。 ・いじめが起きた場合、初期対応を迅速に丁寧に行うとともに、保護者との連携を密にして学校の取組が十分伝わるように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果は目標に達しなかった。児童には体力向上の取組の一環として外遊びを奨励している。児童が休み時間に戸外でよく遊ぶ姿を見るため、アンケート結果と実体とが合致していない印象を持った。そのため次回は「運動場で」を「外で」と表現を変えてアンケートを取る予定である。 ・体育科の授業の充実を図り、継続して体力の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して、学校・学年・学級通信・HP等を通して学校の様子を積極的に発信する努める。 ・自ら進んで相手に伝わる挨拶ができるように指導を継続する。

3 その他の課題

- ・新南小学校のきまり(遊んで良い所、いけない所、廊下の歩き方)の指導
- ・5年は2クラスとも落ち着いて学習できている。来年度も2クラス編制を考えている。